

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 24 日作成)

委員会名	耐震設計小委員会	主 査 名：北村春幸
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：篠崎祐三
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本小委員会は、耐震構造の設計体系（具体的には限界耐力計算、エネルギー法、時刻歴応答計算など）について比較し議論することで、構造設計者に役立つ資料を作成することを目的としている。2002 年度は建築構造設計に関する問題点の抽出を行った。2003 年度は、具体的な構造計算法について、それぞれの問題点や比較を行った。2004 年度は、2003 年度の検討を継続するとともに、2005 年 5 月に開催するシンポジウムに向けた成果の取り纏めを行った。	
委員構成 (委員名(所属))	小委員会は応答解析 WG と同時開催としているので、全委員名を示す。 秋山 宏(日本大学) 北村春幸(東京理科大学) 高山峯夫(福岡大学) 上野敏範(間組) 大越俊男(日本設計) 大島靖樹(電力中央研究所) 岡田 恒(建築研究所) 壁谷澤寿海(東京大学) 川瀬 博(九州大学) 木村祥裕(東京工業大学) 倉本 洋(豊橋技術科学大学) 張 富明(防災科学研究所) 勅使川原正臣(建築研究所) 細野 透(日経 BP 社) 和田 章(東京工業大学) 佐藤玲圭(熊谷組) 石井正人(日建設計) 石原 直(国交省国土技術政策総合研究所) 加藤研一(鹿島建設) 松本和行(藤木工務店) 三宅辰哉(日本システム設計)	
設置 WG (WG 名:目的)	<u>応答解析 WG</u> : 具体的な構造計算法の比較・検証を行うことを目的とする	
2004 年度予算	290,000 円	

項 目	自己評価																											
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	耐震設計小委員会と応答解析 WG は同時開催とし、2004 年度は以下に示す 9 回開催した。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>第 16 回委員会</td><td>2004.4.28</td><td>10 名参加</td></tr> <tr><td>第 17 回委員会</td><td>2004.6.3</td><td>12 名参加</td></tr> <tr><td>第 18 回委員会</td><td>2004.7.13</td><td>9 名参加</td></tr> <tr><td>第 19 回委員会</td><td>2004.9.8</td><td>10 名参加</td></tr> <tr><td>第 20 回委員会</td><td>2004.10.21</td><td>10 名参加</td></tr> <tr><td>第 21 回委員会</td><td>2004.11.25</td><td>11 名参加</td></tr> <tr><td>第 22 回委員会</td><td>2005.1.6</td><td>11 名参加</td></tr> <tr><td>第 23 回委員会</td><td>2005.2.24</td><td>10 名参加</td></tr> <tr><td>第 24 回委員会</td><td>2005.3.31</td><td>開催予定</td></tr> </table>	第 16 回委員会	2004.4.28	10 名参加	第 17 回委員会	2004.6.3	12 名参加	第 18 回委員会	2004.7.13	9 名参加	第 19 回委員会	2004.9.8	10 名参加	第 20 回委員会	2004.10.21	10 名参加	第 21 回委員会	2004.11.25	11 名参加	第 22 回委員会	2005.1.6	11 名参加	第 23 回委員会	2005.2.24	10 名参加	第 24 回委員会	2005.3.31	開催予定
第 16 回委員会	2004.4.28	10 名参加																										
第 17 回委員会	2004.6.3	12 名参加																										
第 18 回委員会	2004.7.13	9 名参加																										
第 19 回委員会	2004.9.8	10 名参加																										
第 20 回委員会	2004.10.21	10 名参加																										
第 21 回委員会	2004.11.25	11 名参加																										
第 22 回委員会	2005.1.6	11 名参加																										
第 23 回委員会	2005.2.24	10 名参加																										
第 24 回委員会	2005.3.31	開催予定																										
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>本委員会の成果物のイメージとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震設計の発展 ・性能設計 ・地震動入力 ・等価線形化法に基づく耐震設計 ・エネルギー法に基づく耐震設計 ・時刻歴応答解析に基づく耐震設計 ・各手法による応答予測の比較 ・今後の課題 <p>などの項目を考え、それぞれの内容構成について検討するとともに、構造計算法を比較するための関連資料を収集した。収集した資料を検討しながら、計算法の比較検討の方法などについて議論をすすめた。</p> <p>2004 年度は 2005 年 5 月に開催するシンポジウムのための発表および資料の作成について集中的に議論した。このシンポジウムでは、本小委員会の中間成果の公開と意見を求める予定である。</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>																											
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画では最初の 2 年間は現状調査と分析であり、ほぼ計画通り活動を進めてきている。2005 年度は本小委員会の最後の年であり、シンポジウムの結果を取り入れた成果物の作成に取りかかることになる。2004 年度は、そのための検討と議論がある程度できたものと考えている。ただ、最終成果物を取り纏め、相互の調整を行う時間が少なくなっており、今後の委員会活動では、できるだけ速やかに成果を集約することが求められる。</p>																											
その他評価すべき事項																												